

デプロイメント管理ツール

Deployment Automation

Deployment Automation は、複数環境にまたがるアプリケーションの継続的なリリースを自動化するデプロイメント管理ツールです。マニュアルによるリリース作業で発生するエラーを排除し、リリースプロセスの自動化と可視化を実現します。アプリケーションのデプロイメント、メンテナンス、改善、リカバリープロセスを包括的に管理し、アプリケーションの品質向上、実運用時間の最大化、開発コストの削減、トレーサビリティの確保、コンプライアンス準拠などの効果をもたらします。

製品の特長

1. 継続的なリリースを自動化

IT 環境の進化に伴い、複数の複雑なインフラストラクチャー（物理、仮想、クラウド）へのアプリケーションデプロイメントやリリースが必要になっています。そのような状況の中、短期間で正確なリリースを繰り返して実行するためには、リリースプロセスの自動化が有効です。Deployment Automation は、アプリケーションの継続的なリリースを自動化することにより、マニュアルによるリリース作業で発生するエラーを排除。リリースプロセスの包括的なコントロールと可視化を実現し、スムーズで安全なリリースの運用を支援します。

2. アーティファクト（成果物）のバージョン管理

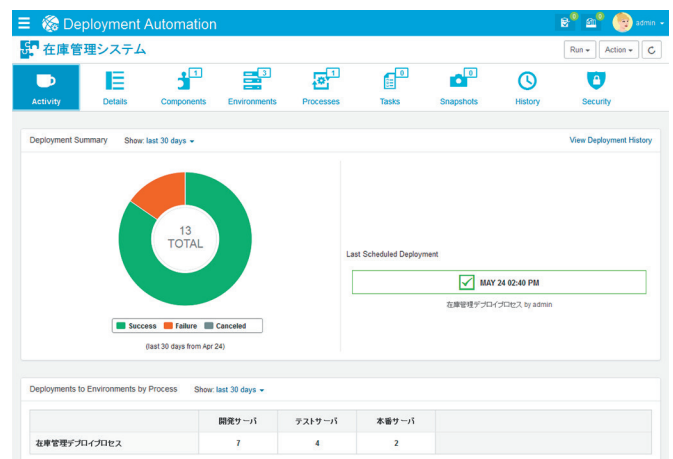
Deployment Automation は、デプロイメントアーティファクトを格納する、改ざん防止機能を持った安全性の高いリポジトリを提供します。リポジトリに登録された全てのアーティファクトはバージョン管理され、トレーサビリティを持った状態で自動的に記録されるので、変更記録のトラッキングができます。リポジトリのファイルとコンポーネントとの関連付けも、ビルドインで自動的に行われます。

3. 安全でセキュアなデプロイメントを実現

Deployment Automation は、デプロイメントパイプラインと稼動環境を関連付け、安全で確実なデプロイメント環境を提供します。この関連付けにより、テスト環境の次にステージング環境にデプロイするなど、複数の異なる環境に対して決められた順序に従って、アプリケーションをデプロイすることが可能です。デプロイメントを安全に運営するために、ユーザーを役割、権限、承認によって詳細に管理します。また、環境に依存する値をプロパティとして設定し、テスト環境と本番環境の間でシームレスな自動デプロイが実行できます。

4. ドラッグ&ドロップ操作でプロセスをデザイン

Deployment Automation は使いやすいグラフィカルなプロセスエディターを提供しています。ドラッグ&ドロップ操作でリリースプロセスやデプロイメントパイプラインをプログラミングする必要なく簡単に定義できます。

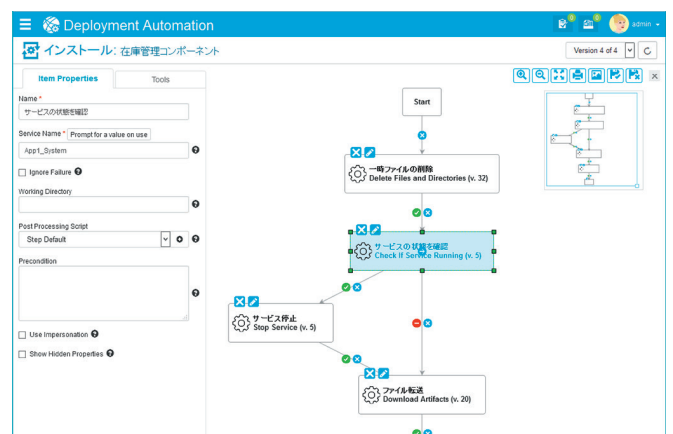


アプリケーションのアクティビティ

The screenshot shows the 'Deployment History' table. It has columns: Process, Environment, Snapshot, Scheduled, By, and Status. The table lists several deployment records, including successful ones and some that failed to start.

Process	Environment	Snapshot	Scheduled	By	Status
在庫管理デプロイプロセス	テストサーバ		05/24/2017 02:40 PM	admin	Success
在庫管理デプロイプロセス	開発サーバ		05/24/2017 02:38 PM	admin	Success
在庫管理デプロイプロセス	本番サーバ		05/24/2017 02:32 PM	admin	Success
在庫管理デプロイプロセス	テストサーバ		05/24/2017 02:31 PM	admin	Success
在庫管理デプロイプロセス	開発サーバ		05/24/2017 02:31 PM	admin	Success
デモプロセス	テストサーバ		05/12/2017 04:37 PM	admin	Success
デモプロセス	開発サーバ		05/12/2017 04:36 PM	admin	Success
デモプロセス	開発サーバ		05/12/2017 04:35 PM	admin	Could Not Start
デモプロセス	開発サーバ		05/12/2017 04:35 PM	admin	Could Not Start
デモプロセス	開発サーバ		05/12/2017 04:32 PM	admin	Success

デプロイ履歴



コンポーネントのプロセス定義

主な機能

1. デプロイメント処理のステップをフローで定義

Deployment Automation は使いやすいグラフィカルなプロセスエディターを提供しています。プロセスエディターを使って、コンポーネントのデプロイメント処理で行われる各ステップをフローで定義します。このフローのことをプロセスと呼び、ステップ（四角のボックス）とコネクション（矢印）で構成されます。ドラッグ&ドロップ操作によって、必要な機能を備えたステップを追加し、ステップから次のステップに進むべき条件や進み先をコネクションで定義します。バッチやシェルなどのスクリプトでコーディングするのではなく、プロセスのフローとして図式化して定義するため、処理内容を容易に把握することができます。

2. アプリケーションスナップショット

特定のコンポーネントバージョンのセットをスナップショットとして保存することで、スナップショットの比較、デプロイ、ロールバックを手軽に繰り返し行うことができます。

3. プロセステンプレート

デプロイのプロセスをテンプレート化し、再利用することで、新たなデプロイメントプロセスを迅速にセットアップできます。

4. 複数の環境を一元管理

どのアプリケーションの、どのバージョンが、どの環境にデプロイされているかを、1つのインベントリで表示します。環境固有の値をプロパティとして設定し、統合環境や本番環境などの複数の環境を一元管理します。また、パイプライン機能を利用し、環境の順番（例えば、結合環境→ステージング環境→本番環境）を設定し、その順番に沿ってアプリケーションをデプロイできます。



インベントリ

5. 信頼性の高いセキュリティ

ユーザーごとのデプロイメント権限は役割で管理されます。ユーザー認証には、内部認証、LDAP、SSO（シングルサインオン）の利用が可能です。また、未承認のままデプロイされることを防ぐ承認機能を用意しており、これにより、安全性の高いデプロイメントの実行をサポートします。デプロイメントの成功や失敗などの結果は、電子メールで自動通知することもできます。

6. アーティファクト（成果物）リポジトリ

デプロイされるアーティファクトは、セキュアな改ざん防止機能を持つリポジトリに格納されます。また、バージョン管理機能によって、トレーサビリティも確保します。

7. 主要なソフトウェア構成管理ツールと連携

バージョン管理ツールPVCS Version Manager やソフトウェア構成管理ツールStarTeam などと連携し、デプロイするアーティファクトをリポジトリにインポートすることができます。また、Git やSubversion とも連携できますので、使い慣れたツールを選択してご利用いただけます。

8. プラグインによる機能拡張

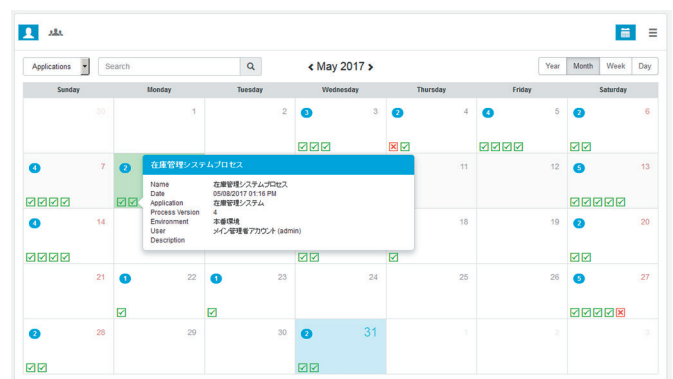
Deployment Automation は、Jenkins やDocker などの主要なアプリケーションに対応したプラグインを多数提供しています。必要なプラグインをインポートし、機能を追加することができます。これにより、CI（継続的インテグレーション）ツールなどともシームレスに統合できます。また、独自のプラグインを開発することも可能です。

9. エージェント管理

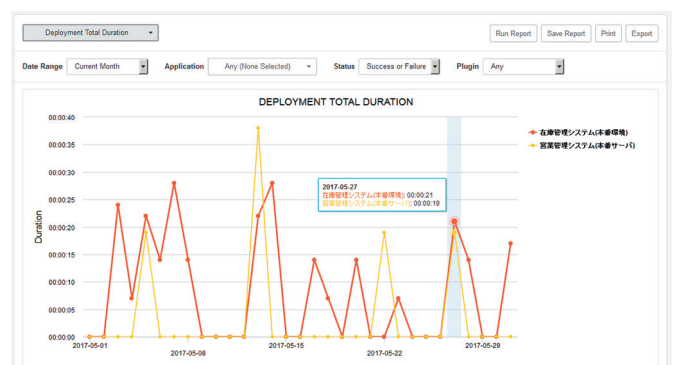
Deployment Automation の画面上から、デプロイ先のサーバーにインストールされたエージェントのステータス表示、接続確認、再起動、新バージョンへのアップグレードなどを行うことができます。

10. レポート機能

デプロイメントの履歴を元にレポートを作成できます。デプロイメントの詳細レポート、デプロイに要した時間や回数などの折れ線グラフ、カレンダー形式によるデプロイ履歴などを簡単に表示することができます。



タイムライン



レポート